昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2026年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2026年（令和８年）
２月21日 土曜日
第2003号

京都自動車新聞

福知山輸協　新年祈願祭＆新年会 2
新規時の部品取付改正で新情報 5
京自販 改正行政書士法説明会 6
京車協 実習型の高難度塗装研修 8
◀ＡＪＡ 次期役員の顔ぶれ決まる 7

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

追跡 データベース ―京都商工会議所編―

BSI値、前期から大きく上昇

25年10～12月期　インバウンド・年末需要で小売、サービス業が増加

府内に本社・本店がある大手・中小企業の2025年10月～12月期における自社業況ＢＳＩ値（経営状況の力強さ）は9・3と前期実績の6・7から大きく上昇した。秋の行楽、観光シーズンに伴うインバウンド（訪日外国人）需要の増加、年末需要を背景とした消費の活発化により、小売業やサービス業などで売り上げが増加。経常利益や資金繰りの改善がみられた。一方で中国との関係悪化を懸念し、今後の動向を慎重に見極めようとする企業もみられる。京都商工会議所が発表した。

総合判断

業種別にみると、不動産業（マイナス22・8）を除く全ての企業で上昇。特に小売業は25・0と大幅な上昇となり、サービス業（19・2）、卸売業が続いた。

今後の予測では1月～3月期にかけて多くの企業で下降傾向で推移する見通し。

企業規模別にみると、大手企業（15・8）、中小企業（6・7）ともに上昇した。26年4～6月期にかけて、大手企業では上昇が続く一方、中小企業では下降に転じると予想する。

経常利益は前回調査の予想値（2・8）を上回る6・7と増加に転ずる結果となり、特に運輸・倉庫業（17・7）、小売業（16・7）で大幅に増加した。

規模別では大手・中小企業ともに増加、26年1～3月期は9・5と全ての企業で減少し、4～6月期も0・9と下降基調で推移する見通し。

経営上の課題

原材（燃）料高が46・9％が依然として最多の回答で17期連続の第1位、第2位の求人難は43・4％で増加。第3位の人件費増大は小売業（75・0％）が最も多く、最低賃金の引き上げも一部影響していると考えられる。

第4位は受注・売り上げ不振（36・0％）で前期に比べ回答率は減少した一方、第5位の技能労働者不足（19・3％）は増加した。

規模別では、中小企業の「求人難」の回答率が前期から増加し、前期第2位であった「受注・売上不振」から入れ替わったが、大手企業では回答率に大きな変化はみられなかった。

人材の確保

新卒採用活動を実施した企業は2年連続で減少。回答企業の54・3％が「採用活動を実施した」と回答しており、前年度同時期（57・1％）より若干減少した。また、「採用活動を実施していない」と回答した企業は10・9％と前年度（10・3％）より増加した。

規模別では、「実施した」と回答した企業は中小企業の40・6％（前年度43・2％）に対し、大手企業は85・9％（同86・9％）と2倍近い差となった。実施していないと回答した企業は大手企業で5・4％（同5・1％）、中小企業で13・2％（同12・7％）と、いずれも微増した。

実施したと答えた企業のうち、来年度の採用予定人数について「増やした」が22・3％で前年度（23・3％）より減少。「変わらない」は63・1％（同56・4％）、「減らした」が14・5％（同20・3％）となった。

業種別では、「増やした」の回答率は運輸・倉庫業40・0％で最も多く、次いで卸売業27・3％、小売業25・0％の順で多かった。

また、新卒採用の充足状況については、「実施した」と回答した企業のうち、「予定どおりの人数を採用できた」企業は31・2％と前年度（35・5％）より減少。

「採用できたが、予定人数に満たなかった」が45・3％、「採用を行ったが応募がなかった」の15・9％を合わせると、6割超の企業が人材採用で満足いく結果が得られていないことが分かった。

業種別では、「予定通りの人数が採用できた」の回答はサービス業（41・9％）が最も多く、予定通り採用を行えなかった企業は不動産業（100・0％）が最多だった。

規模別では、中小企業で「予定通りの人数を採用できた」と回答した割合は20・7％と、大手企業（43・6％）の半数にとどまり、「採用を行ったが応募がなかった」と回答した割合は大手企業（2・6％）の10倍の27・2％に上り、「中小企業における新卒採用の厳しさが垣間見える結果となった」（京都商議所）としている。

自社概況（総合判断）		BSI値（実績・予測）			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
総計		▲6.7	9.3	▲3.9	1.2
業種別	製造業	▲5.4	8.7	▲3.1	▲1.0
	卸売業	▲9.5	10.0	▲5.0	▲7.5
	小売業	▲7.7	25.0	▲8.3	12.5
	建設業	▲4.0	4.3	6.6	▲6.6
	不動産業	0.0	▲22.8	0.0	▲22.8
	運輸・倉庫業	▲9.5	3.0	▲14.7	8.8
	サービス業	▲9.8	19.2	▲6.5	19.6

25年度近運局自動車関係功労者表彰
事業功労に久美浜観光バス・小國氏

近畿運輸局は10日、自動車関係功労者表彰式を開き、事業、永年勤続（中間管理者、従事者）で功績のあった120人をたたえた。京都からは事業功労で、小國徳人氏（久美浜観光バス）をはじめ、21人が選ばれた。

（京都の受賞者は3、7面に掲載）

表彰式は、午前がバス、タクシー、トラック、自動車関連、通運事業関係、午後からは自動車販売、自動車整備、自動車関連事業関係、自動車整備事業関係を対象に実施。午前の部で、近運局の服部真樹局長は「皆さんは、それぞれの活動を通じ、輸送の安全確保はもちろん、関西全体の経済や国民の日常生活を支える上で重要な役割を果たしている。今後も自動車の安全確保と良質なサービスの提供に努めるとともに、若い人たちの目標となり、次世代を担う人材の育成に力も注いでほしい」と激励した。

また、近畿バス団体協議会の鈴木一明会長が来賓あいさつしたほか、個人タクシーの八頭義照氏が謝辞を述べた。

表彰状を手にする小國氏

［京ト協］

飲酒運転根絶むけ
署名８千人分提出

京都府トラック協会（平島竜二会長）は9日、京都府警察本部交通部の奥野雅義部長に、飲酒運転根絶に向けた3811社8080人分の署名を提出した。

京ト協では、事業用トラックドライバーが引き起こす飲酒運転は、トラック運送業界の社会的信頼性を著しく失墜させ、荷主や社会全体からの信頼関係を根底から崩壊させない行為――として、2025年11月～1月中旬にかけ署名活動を展開。

会員事業所所属のドライバーおよび従業員は、①飲んだら乗らない②乗るなら飲まない③乗るなら飲ませない――の飲酒運転追放三ない運動に取り組むことを誓った。

全日本トラック協会（寺岡洋一会長）によると、25年中に発生した27件の飲酒事案のうち、21件が運行中、10件は点呼未実施事案だったという。

レンタカー・代車のことなら なんでもご相談ください
トヨタレンタリース京都
予約センター
(075) 315-7320 年中無休

●京都府 京都山科店 075-583-5338
京都京田辺店 0774-68-5079
●奈良県 奈良店 0742-32-1543
橿原店 0744-33-7477

J-netレンタリース近畿中央株式会社